

## 多読のすすめ

### 英語の本を楽しく読んで、英語力 UP！

#### 1. 「多読」とは？

「多読」とは、長い文を細かな分析をしないで大意を把握してたくさん読むことです。一方、難しく短かい文を細かく分析して読む読み方を「精読」と言います。

#### 2. 「多読」の目的

「英語力は英語の吸収量に比例している」と言われますが、多読は英語を吸収するための一つの手段です。英語を身につけるには、非常に多くの時間がかかります。しかし、英会話の CD を繰り返し聞いて暗記するとか、単語帳を作って単語を暗記する等の単調な方法を何百時間も続けられる人はほとんどいないでしょう。何百時間も続けるには、その方法が楽しく有意義であることが必要です。「楽しく読んで英語を身につける」、それが多読の目的です。

#### 3. どれくらいの量を読めばいいか？

英語を英語のまま理解できる基礎を作るには、総語数 100 万語程度の読書が必要だと言われています ( This is a pen. という英文は、総語数 4 語と数えます)。100 万語というと途方もない数字に思えるかもしれませんが、1 分間に 100 語のペースで読んで、1 日 30 分の読書時間を確保すれば 1 年で達成できます。

#### 4. うんとやさしい絵本から読み始めよう！まずは、ORT (Oxford Reading Tree) から

英文多読は、“やさしい本を” “たくさん” 読む方法です。最初は、ORT を読みましょう。Stage 1(ORT1: YL0.0~0.1)から Stage 9(ORT9: YL1.0)まで揃っています。YL とは、読みやすさレベルを表していて、YL0.1 はタイトル以外はほとんど絵ばかりで単語数は数語です。ORT は、ある家庭の日常から子供たちの冒険へと発展します。

#### 5. その他のお勧め本

- ・英語を母国語とする子供たちのために書かれた学習用絵本 (Leveled Readers)

LLL: Longman Literacy Land: Story Street

SIR: Step into Reading

RTR: Ready to Read

PER: Puffin Easy-to-Read

ICR: I Can Read Books

- ・英語学習者用に単語や文法が制限された読み物 (Graded Readers)

MMR: Macmillan Readers, Starter

PGR: Penguin Readers, Easystarts

OBW: Oxford Bookworms, Starters

PYR: Penguin Young Readers

## 6. 多読三原則

- 1) 辞書は引かない
- 2) わからないところは飛ばす
- 3) つまらなくなったら、がまんしないで後回し

### ※ 多読三原則に対する疑問への回答

- 1) 辞書は引かなくても大丈夫？

楽しむために本を読んでいるとき辞書を何度も引いていたら、読書のリズムがさえぎられてしまいます。読書中はストーリーだけを追い、読み終えた後にどうしても気になる単語だけ辞書を引きましょう。

- 2) わからないところは飛ばしていい？

「飛ばしていたら話がわからなくなるのではないか」と不安に思うかもしれませんが、わからない単語がほとんどない、やさしい本を選ぶことでその疑問は解決します。小さな子供向けの絵本など大人の知的レベルに合わないと感じるかもしれませんが、童心に戻って読めば、場面と一緒に英語が頭にしみこんでいきます。

- 3) つまらなくなったら後回しでいい？

読んでいて「つまらない」と感じるのは、内容に興味を持ってない場合と、英語が難しすぎる場合があります。それを無理して読んでいると、読むスピードが遅くなり、ストーリーも思い浮かばなくなるはずですが。無理せず、まずはその本はやめて何ヶ月か経った後で読むと、すらすら読めるかもしれません。

**今日を機会に、ぜひ沖縄高専で多読を続けてください！**